

平成30年度第2次農林水産関係補正予算の概要

【農村振興局】

1 「総合的なTPP等関連政策大綱」に基づく施策の実施

(1) 次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

① 農地の更なる大区画化・汎用化の推進<公共> 348億円

- 農地中間管理事業の重点実施区域等において、担い手への農地集積・集約化を加速化し、米の生産コストの大幅な削減等のため、農地の大区画化や排水対策、水管理の省力化等のための整備を推進

② 中山間地域所得向上支援対策 280億円

- 中山間地域において、収益性の高い農産物の生産・販売等に本格的に取り組む場合に、実践的な計画策定、水田の畑地化等の基盤整備、生産・販売等の施設整備等を総合的に支援

うち本体	80億円
うち産地パワーアップ事業優先枠	40億円
うち畜産・酪農収益力強化整備等特別対策（畜産クラスター）事業優先枠	40億円
うち農業農村整備事業優先枠	120億円

(2) 国際競争力のある産地イノベーションの促進

○ 水田の畑地化、畑地・樹園地の高機能化等の推進<公共> 518億円

- 高収益作物を中心とした営農体系への転換を促進するため、排水改良等による水田の畑地化・汎用化や、畑地かんがい施設の整備等による畑地・樹園地の高機能化等の基盤整備を推進

(3) 畜産・酪農収益力強化総合プロジェクトの推進

○ 畜産クラスターを後押しする草地整備の推進<公共> 36億円

- 畜産クラスター計画を策定した地域において、地域ぐるみの効率的な飼料生産を一層推進するため、収穫作業等の受託や大型機械化体系に対応した草地整備を推進

2 重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

- ① 農業水利施設の緊急対策＜公共＞ (農業農村整備事業で実施)
5 1 1 億円
- ・ 農業水利施設について、耐震化対策などの非常時にも機能を確保するために必要な施設の改修・更新等を実施 (農山漁村地域整備交付金で実施)
5 0 億円の内数
- ② ため池の緊急対策＜公共＞ (農業農村整備事業で実施)
5 1 1 億円の内数
- ・ 下流への影響が特に大きく、早急に対策が必要な防災重点ため池について、機能や安全性確保のための改修や利用されていないため池の廃止等を実施 (海岸事業で実施)
- ③ 海岸堤防等の緊急対策＜公共＞ 8 億円
- ・ 海岸堤防等について、高潮や津波に対し必要な堤防高確保のための整備や耐震対策等を実施 (農山漁村地域整備交付金で実施)
5 0 億円の内数

3 「農林水産業・地域の活力創造プラン」に基づく施策等の推進

- 鳥獣被害防止総合対策交付金 3 億円
- ・ 野生鳥獣被害の深刻化・広域化に対応し、地域関係者が一体となった鳥獣被害防止の取組等を推進するため、捕獲活動経費等を支援

4 台風 24 号等の災害への対応

- ① 災害復旧等事業＜公共＞ 3 3 6 億円
- ・ 被災した農地・農業用施設、治山施設、林道施設、漁港施設等の速やかな復旧等を実施
- ② 特殊自然災害対策施設緊急整備事業 2 億円
- ・ 火山の降灰被害に対応するための洗浄用機械施設等の整備を支援